

第1回 菖蒲沢境第一公園ワークショップ新聞

ワークショップについて

1. ワークショップを開催する意味

ワークショップ：公園を利用する近隣の方々が集まって公園の計画や使い方などを決めていく会合の事を言います。計画地を取巻く条件を踏まえ、市民・行政が協力して計画を進めます。

2. ワークショップのルール

- ・市民の代表として話をして下さい。
- ・意見の違いを好き嫌いで判断せず別の立場でも考え、意見を述べて下さい。
- ・プランをまとめるため建設的な考え方で意見を述べて下さい。
- ・参加者全体の共通認識を得るため、積極的に議論をして下さい。

3. ワークショップにおける参加者の役割

●住民

- ・住民代表の意識と活発な議論と計画の立案。
- ・計画実現のための問題解決。
- ・将来の維持管理を想定した、行政との継続的な協力関係の構築。

●行政

- ・計画、建設実行のタイムスケジュール管理。
- ・法規制の解説。実行可能性の明確化。
- ・実現化のための効果的方法のアドバイス。

4. ワークショップで集まって何をするのか

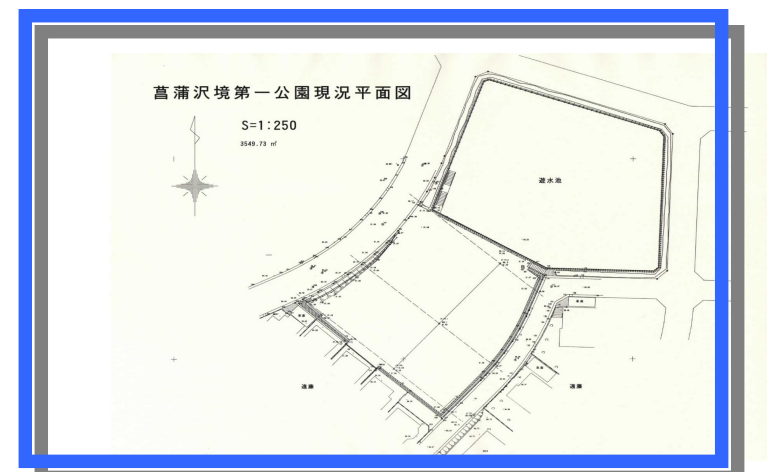
- ・運動ができる公園、ゆっくり休める公園、遊びが中心の公園、広場は芝生広場がほしい、ブランコを置きたい、植物は何を植えようかななどをみんなで話し合いながら決めていきます。



計画地の現況

計画地の与条件

- ・公園種別 街区公園（菖蒲沢境第一公園）
- ・面積：3,549 m²
- ・所在地：遠藤 3650 番地先（菖蒲沢境土地区画整理事業区域内）
- ・公園内が広場部分と遊水池に分かれています。
- ・広場部分は高低差がほとんどなく、平らな状態になっています。
- ・遊水池内は道路面より、6～8mほど低くなっていて、外から死角になる部分がみられます。
- ・既存樹木等はありません。
- ・南側と西側は住宅に隣接し、プライバシーの確保が重要となります。



公園への思い・要望

ー参加者の思いー

当日参加していただいた方達の公園への思いです。

- 家の近くに公園ができることを楽しみにしています。
- 子供の遊び場が増えるのは望ましいことです。
- 公園ができることを待ち望んでいます。
- 安全に楽しく、様々な年齢層が遊べる公園にしたい。
- 防犯に関してや、安心できるスペースのことも考えていきたい。
- 公園が出来る成り行きを見守りたいのと、少しでも意見が反映されたいと思います。
- 遊水池部分を何らかの形で利用できたらと思います。



ーアンケート結果ー

事前に配布したアンケートの集計結果(11件)です。

「公園のタイプ」

- 遊具のある公園、運動が楽しめる公園が合わせて64%あり、「元気に遊び回れる活発なイメージ」の公園が望まれているようです。

「公園で主にしたいこと」

- 子供を安全に遊ばせたいが36%あり、公園の安全性が問われているようです。

「欲しい施設」

- 多くの意見がありましたが、ブランコ、鉄棒、木陰のできる樹木、ベンチの要望に加えて、ボール遊びのできるスペースが上位にきています。

「欲しくない施設」

- たまり場となる施設や死角をつくる施設が多く、「安心・安全な公園づくり」が望まれているようです。

「公園愛護会について」

- 「予定が合えば参加したい」という意見が約90%を占めました。

「その他公園整備について」

- 安全な公園、子供達の遊びの場となる公園などさまざま意見が寄せられた中で、近隣に迷惑がかからない配慮も必要であるという意見がありました。



ー公園への要望ー

公園への要望や現状について話し合いを行い、8つのキーワードに分類して整理しました。

「あそび」

ブランコ（普通のもの、小さい子が乗れるもの） ブランコの足元は水が溜まらないように 滑り台 大型の遊具（滑り台、アスレチック等） ボール遊び禁止 幼児用の遊具（大きいもの、小さいもの） 小学生でも使える遊具（大きいジャングルジム等） 複雑な遊具は安全管理が大変なのは 遊具のまわりは木のチップなどで囲う ボール遊びと遊具のスペースを柵で区切る 目的別に区分けをして利用する 砂場＋藤棚＋猫よけネット

「運動」

ゲートボールができる程度の広場は1つくらいあっても良いのでは 遊水池としての機能は残して、ボール遊びのできる場としたい ボール遊び専用（テニスコート兼フットサルコート、予約制でカギは公民館で貸し出し） 芝生の公園（子供が裸足で遊べる） ボールを防ぐネットの設置（太陽光を遮らない）

「コミュニケーション」

各家庭で子供のマナーについて指導してもらう（回覧などで呼びかけ） 公園のルール看板の設置 四方から見える時計

「安心・安全」

駐輪場 自転車利用のルールづくり 自転車利用の制限 自転車置き場に1台ずつの区画ラインを書く 西側道路の車進入制限（時間帯で） 緊急時の連絡手段（非常ベルのようなものの設置） 入口に車止め 照明の設置



ー公園への要望ー

「みどり」

シンボルツリー（下には丸型のベンチ） 日陰となる大きい木 芝を基本に 地元などで管理できるなら花壇で使えるスペース 住宅側（東、南）に は植栽で砂ぼこりを防ぐ措置、西側はあまり必要ない

「自然観察」



「休憩」

ベンチの設置（災害時、トイレや火がたけるもの） 屋根つきベンチ ベンチの形をしていなくても座って休める器具 水飲み場

「その他」

近くに公園がなく、自転車で遠方から来る子達もいる

ワークショップ当日の様子です。



第1回ワークショップの進行表

ー当日の流れー

1. 課長あいさつ・担当の紹介
2. 公園計画の概要について
3. ワークショップの方法、進め方について
4. 計画を進めるための条件について
5. 参加者自己紹介と計画地への思い
ー休憩ー
6. アンケート結果
7. 公園への要望
ー休憩ー
8. まとめ
9. あいさつ（今後の予定について）



第2回ワークショップのスケジュール

★第2回ワークショップについて

- ・計画の基本方針、テーマの設定を行います。
- ・スケール感の確認を行います。
- ・ゾーニング図を作成します。
- ・公園施設の配置計画を行います。

★次回開催8月19日（日曜日）09:30 から 11:30、遠藤市民センターにて

★第1回ワークショップ資料の要望がありましたら、公園みどり課計画・推進担当までご連絡下さい。

※第2回ワークショップから参加される方は、資料等準備の関係がありますので、事前にお申し込みいただけるようお願いいたします。

連絡先 藤沢市 都市整備部 公園みどり課 計画・推進担当
TEL：0466-25-1111 FAX：0466-50-8421

